学校だより
富士市立岩松北小学校
［学校教育目標］
あたらしい自分を
つくっていく　ぼく・わたし

けやき

特別号
令和5年2月
［令和4年度重点目標］
人にやさしい　人がやさしい

後期　学校評価より

後期学校評価アンケートでは、たくさんのご意見をいただきました。本校では、児童の「主体性」を育むことを目標にして日々の教育活動に取り組んでまいりました。皆様からいただいたご意見を教職員全員で共有し、令和5年度の指導にどう生かしていくか、検討を重ねています。ここに書ききれないご意見もありますが、真摯に受け止め、より充実した学校生活を目指していきます。

後期の学校評価では、「岩松北小学校の好きなところはどのようなところでしょうか？また、そこをさらに良くするには、どのようなことをするとよいと思いますか？」と「依然としてコロナ禍が続いていますが、今後の学校での活動をよりよいものにしていくためにご提言がありましたらお聞かせください。」の2点についてお聞きしました。その結果のまとめは以下のようになりました。

お子様自身についての総括

【好きなところ】
①挨拶ができ、明るくのびのびしている。
②他学年の子や男女関係なく仲よくでき、優しいところ。
③みんなが協力し合い、人とのつながりを大切にしているところ。
④主体的に活動できるところ。家でもそういった姿が見られます。

【さらに伸ばすには】
1　あったか言葉を増やしたり、助け合ったりすることが大切だと思います。
2　あいさつをもっとするとよいと思います。

好きなところの②では、次のような具体的な場面も紹介してくださいました。【優しく接してくれる6年生が大好きなようで、1年生のときに当時の6年生の子が「一緒にいるから大丈夫だよ」と言ってくれた。けがをしたときおんぶして保健室に連れて行ってくれた。周りの子が助けてくれる。】また、④の意見は、ご家庭での姿だと紹介してくださったご意見です。学校で身に付けたことを、家庭でも実行できていて、とてもすてきだと思いました。

具体的な活動についての総括

【好きなところ】
①学年を超えたたてわり活動で交流を深め仲が良いところ。
②町探検、けやき学習、レベルupノートなど、自分たちのなぜ？を知りたい教えたいというたくさんの好奇心を伸ばす学習が、子供たちの楽しみとなり、人間性を成長させてくれているところ。
③行事等保護者の付き添いの機会を多く設定してくださり、学校生活の様子がよく分かるところ。
④子供たちが主体性をもって取り組めるものがいろいろあるところ。（運動会の名前決め、七夕集会、お面パレード、ありがとうの会など）
⑤子供が主体となって、やりたいことを考え計画をして活動できるクラスごとのけやき学習。
⑥机での学習も大切ですが、体験することは特に重要だと思います。その機会を作ってくれているところ。（こどもの国、町探検、椎茸の講座、リクシルとの共同研究、赤十字社の着衣泳講習など）
⑦校外活動の様子をタイムラインでリアルタイムに見ることができ嬉しいです。

【さらに伸ばすには】
1　今後も子供主体の行事が増えるとよいと思います。
2　運動に力を入れていくとよいと思います。

④や⑤については、児童がご家庭でよく話してくれているというお声もいただきました。また⑤については、正解のない世の中に出た時に必要な力「見えない学力」であると、社会人としての視点からのご意見をいただきました。

子供たちの主体性を伸ばしたいと考えていたため、うれしいご意見でした。

さらに伸ばすために、運動に関するご意見を多くいただきまいた。体育の時間の充実や、昼休みの充実（活動時間を増やす予定）をしていきたいと思います。また、トイレ清掃（奉仕作業）について、子供たちの参加についてご意見をいただきましたが、強力な薬品を扱うため、来年度も大人だけの作業とさせていただきますことを、お許しください。（廊下等の清掃や草取り等の活動が並行できれば可能かもしれません。）

授業参観についての総括

〇「チケット制は休みがとりづらい人からすると、日にちを自分で指定できるのでありがたい。
〇行事ごと保護者参加ができてありがたい。
〇with コロナとして、希望のタイミングで参観できる取り組みが良かったです。
△期間を絞ってもらいたいです。一人の参観だと目立つため、子供は嫌がっていました。
△チケット制はメリットがあると思いますが、参加しにくかったです。
△ふれあい協力員の方々から、参加後の意見を聴く場を設けてみてはいかがでしょうか。

今年度は、これまでの反省を生かし、年間2回のチケット制による参観を設定してみました。「良かった」というお声も「困った」というお声もいただきました。期間が長すぎて、逆に参加しづらかったというお声を受け止め、来年度は、年間3回「授業参観旬間」を設けることにいたしました。また、行事等でふれあい協力員として参加してくださった方からのフィードバックを受けられる仕組みについて、今後検討したいと思います。

感染対策についてのご意見

〇今のような対策でも先生方が工夫してくださり、楽しく過ごすことができていると思います。
〇クラスターによる学級閉鎖等を考えると、依然として学年ごとのイベント開催は必要だと感じます。先生方の負担も大きいと思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。
〇オンライン授業やチームズは、自宅待機中でも規則正しく生活できたり、授業に参加できたりして助かりました。また、休み時間に友達とも話せて、とてもうれしそうでした。
△コロナの波が来ても世間は規制緩和傾向にあるので、対策を取ったうえで行事（泊を伴う行事も）を行ってもらえると嬉しいです。
△コロナは無くならないので、コロナ対策をやめる時が来ているのではないでしょうか。以前の学校を見せてあげてほしい。黙食をやめ、運動会もみんなでワイワイお弁当を食べるのはどうでしょうか。
△黙食を緩めて（やめて）もよいと思います。
△コロナ対策にとらわれない普通の学校になってもらいたいです。子供たちの楽しみや幸せは減っていると思います。
△まだ感染の心配はあると思いますが、外での活動は、以前の形に戻してほしいと思います。

感染対策については、新型コロナウイルスが感染症法上の位置づけにおいて、5月から5類に位置づけられることもあり、国内における感染対策は転換期を迎えようとしています。学校のおいても、大きな変化があると思われます。アンケートから、「もう感染予防の必要はない」と感じられている保護者の方が一定数いらっしゃる印象を受けました。しかし、重症化はしにくいかもしれませんが、依然として感染力が強いことが予想されます。また、症状は人によって異なるのも事実です。そうすると、どこまで感染対策を緩めてよいか判断が難しいところもあります。保護者様の中に「何が正しい情報なのか分からない」と書いてくださった方がいます。本当にその通りだと思います。少しずつ分かってきていることが増えてきていますが、全容が分かったかと言われると、私たち教職員も分からないのが正直な状況です。ですから、最悪の状況を想定しつつ、学校運営を行っていきたいと考えています。

なお、マスクの着用についてですが、2月現在、富士市のホームページに出ている「マスク着用が不要な場合について」に準拠しています。屋内・屋外問わず2m以上身体的距離が取れる時、および、2m以内でもほとんど会話をしない場合は、「マスクを外してもよい。」と声を掛けていますが、体育で長い距離を走ったり、長い時間縄跳びで跳んだりするきは、積極的に外すよう声を掛けます。しかし、「絶対に外しなさい」という指導はしていません。給食中も「絶対にしゃべらない」という「黙食」ではなく、感染対策を十分に施し「大きな声での会話は控える」という考えに移行しています。

その他のご意見として

【運動会について】

・運動会を午前中でよいので、全学年で開催できるようになるとよいと思います。
・運動会を通常の形に戻してほしいです。他の市町は元に戻っていると聞きます。感染対策は継続したままで。
・運動会の徒競走は順位を付けてみてはどうでしょうか。
・選抜リレーやリレー大会、マラソン大会など、順位をつけることも大事だと思います。
・運動会の土曜日開催。（近隣の学校ですでに土日開催している所もあると聞いた。）
・運動会で大きなものでなくてよいので（入場門のところに旗など）、運動会らしい雰囲気があるとよいと思いました。

運動会についてのご意見を多くいただきました。令和５年度の運動会においても、今年度同様『子供たちが主体性を育て発揮する場』という捉えは変えずに実施したいと考えています。そのため、保護者の皆様が経験したものと異なる場合もあるかと思いますが、温かく子供たちを見守っていただけると幸いです。

開催の仕方については、5類に移行した後の感染対策が不明確なため、現時点で決定することは難しいと思われますが、全学年が関われるような工夫をしていきたいと思います。場の設定については、子供たちと共に考えて一緒に作っていきたいと思います。

【リレー・チャレンジランニング（以後　チャレラン）について】

・リレー会やチャレランが無くなってしまったので、通常の運動会（リレー、組体操）に戻してほしい。経験させたい。
・リレー会やチャレランのように親が見に行ける行事を復活してほしいです。
・コロナで子供たちが我慢することが多くかわいそう。いろんな意見の保護者がいて大変かと思いますが、行事を少なくしないでほしいと思います。

リレーやチャレランについてもご意見を多くいただきました。

学校における授業は、学習指導要領の内容に沿って行っています。体育で行う「リレー」や「チャレラン」も同様です。ちなみに、チャレランは、体育の学習指導要領では「体つくり運動」に分類され、陸上運動ではないのです。1・2年生では「体を移動する運動遊び」として、2～3分一定の速さでかけ足、3・4年生は「体を移動する運動」として3～4分一定の速さでかけ足、5・6年生は「動きを持続する能力を高めるための運動」として、無理のない速さで5～6分程度の持久走をする、とされています。この内容に沿って授業を行いますので、以前のように長い距離を走ることはしなくなりました。また、組体操においても、学習指導要領に記載は無く、また、全国的に大きなけがや障害が残る事故が報告されている状況から、以前のような組体操は行えなくなっていることも合わせてお知らせいたします。

それでも、子供たちの頑張る姿を見ていただきたいという思いはありますので、授業時間内においてリレーやチャレランなど、保護者様に応援していただけるよう準備していきたいと思います。

【音楽発表会について】

・クラスで一丸となって取り組んでいた音楽発表会を、またできるような状況になったら行っていただきたいと思います。

現在、音楽の授業において、大きな声で斉唱することができません。それに伴い、音楽発表会が行えていません。今後は、音楽発表会の意義や目的を再確認して、制限なしで歌えるようになったころに形は変わるかもしれませんが、行うことも検討していきたいと思います。

【グランドデザインの重点評価項目】（目標値：3、4、10 は AB 合計 90%、12は80%）　（%）

質問項目		Aの割合		Bの割合		ABの合計	
		児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者
3　児：学校や地域で、自分からあいさつをしていますか。 保：お子様は、地域であいさつをしていますか。	前期	47.3	25.3	40.6	45.4	87.9	70.7
	後期	45.7	25.6	38.5	45.1	84.2	70.7
4　児：あったか言葉を使おうとしていますか。 保：お子様は、あったか言葉を使うことを意識していると思いますか。	前期	57.7	24.9	35.3	48.5	93.0	73.4
	後期	51.7	19.5	40.4	51.9	92.1	71.4
10　児：読書をすることは楽しいですか。 保：お子様は、読書を楽しんでいると思いますか。	前期	65.7	28.4	23.8	32.0	89.5	60.4
	後期	61.4	25.4	25.7	50.2	87.1	75.6
12　児：自分の考えを先生や友達に伝えられていますか。 保：お子様は、自分の考えを友達や先生に伝えることができていると思いますか。	前期	41.4	21.9	39.9	50.9	81.3	72.8
	後期	38.6	22.5	43.2	52.5	81.8	75.0

4項目とも、前期と似た数値となりました。あいさつについては、児童は約4％下がる結果になりました。現在、生活スマイル委員会が「あいさつじゃんけん」運動を行い、学校中にあいさつが増えるよう取り組んでいます。読書については、目標値に達成できていないものの、保護者の方の数値が上がっていて、家庭での読書の習慣が上がってきたのではないかと思い、うれしく思います。また、12の自分の思いを友達や教師に伝えようとする意欲が高まってきているのもうれしく思います。来年度は今よりもグループ活動が増やせるのではないかと期待しています。思いを伝え合い、子供たちの学びがさらに充実するよう、取り組んでまいります。

【前期に児童と保護者で差が大きかった項目について】　**(%)**

上段：児童　（　）は前期の値 下段：保護者	A 当てはまる	B どちらかというと当てはまる	C どちらかというと当てはまらない	D 当てはまらない
4あったか言葉を使おうと心掛けていますか	51.7(57.7) 19.5(24.9)	40.4(35.3) 51.9(48.5)	6.4(5.7) 22.7(21.3)	1.5(1.3) 4.6(2.6)
19自分の命を守るために考え行動していますか	67.6(71.1) 23.6(21.4)	27.3(21.9) 58.6(56.0)	3.6(5.6) 12.0(13.4)	1.5(1.3) 2.5(2.9)
20(3 年生以上)GIGA タブレットは学習に活用していますか	ほぼ毎日 30.4(35.5) 16.1(12.7)	週１回以上 48.5(50.9) 45.0(44.0)	月１回以上 15.1(10.3) 18.5(18.1)	月１回未満 5.9(3.4) 10.4(12.2)
21道徳では、自分の考えをもって、友達と話し合えましたか	46.2(51.9) 12.7(12.5)	38.4(33.5) 46.9(47.7)	10.1(10.6) 25.0(24.6)	5.3(4.0) 4.6(4.0)

4「あったか言葉を使おう」について。ＡＢの値の合計を見ると、子供たちは 90%を超えていますが、家庭ではＡが減り、ＣＤが増える結果となっています。家族には甘えが出て乱暴な言葉が出てしまうのかもしれませんが、学校での意識をご家庭にもつなげられるよう支援していきたいと思います。

19「自分の命を守るための行動」について。学校外における行動が若干ではありますが、改善傾向が見られます。子供たちの意識も同様に改善傾向が見られているので、今後も引き続き、自分の身を守るのは自分という意識を高められるようにしていきます。令和５年度は、これまで実施できていなかった引き取り訓練を行う方向で調整しています。帰り道にお子様と通学路上の危険箇所を見ていくなど、親子で安全について考える機会を設定する予定です。

20 GIGA タブレットの活用について。ご家庭での活用場面が増えた結果となっています。GIGA タブレットを使った宿題も活用し始めています。他にも１年間のけやき学習（生活科・総合的な学習の時間）のまとめを GIGA タブレットで行うことにも挑戦している学年があります。今後もタブレットを活用する場面を見付け効果的に使えるようにしていきます。

21 道徳にて自分の思いをもって話し合うことについて。道徳は正解がなく、一人一人の思いを自由に話し合えるようになると、多様な価値観に触れることができ、学習が深まると考えられます。まだ自分の思いをもつことに苦手意識を感じている児童がいます。そういった児童を支え、全員で行う「考え議論する道徳」の授業を目指していきたいと思います。

全体のアンケート結果(グラフ)については、学校のホームページに掲載いたしますので、そちらをご覧ください。